2010 年 10 月 28 日

野村不動産ホールディングス株式会社

（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2011年３月期第２四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、2011年３月期第２四半期連結決算（2010年４月１日～2010年９月30日）を確定いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成23年３月期　第２四半期決算短信」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■2011年３月期第２四半期における連結業績は、売上高が1,475億円（前年同期比19.3%減）、営業利益が102億円（同55.4%減）、経常利益が26億円（同83.4%減）、四半期純利益が37百万円（同99.5%減）となりました。前年同期比で売上高・利益が大きく減少した要因は、住宅事業セグメントにおいて、前第１四半期に高収益かつ大規模の分譲マンションの売上計上があった一方で、今期における売上計上（引渡）戸数の約7割が第４四半期に集中すること等によるものです。

■住宅事業セグメント・・・マンションと一戸建てを合わせた住宅分譲部門では、売上計上（引渡）戸数が前年同期比で348戸減の919戸に減少したことから、売上高は前年同期比で48.0%減の454億円となりました。一方、昨今の堅調なマーケット環境の下、契約済未計上戸数は、前年同期比で1,805戸増の3,488戸まで積み上がっております。販売が好調に進捗していることから、今期の売上計上予定戸数を4,700戸から5,000戸に上方修正いたします。なお、９月末時点における上方修正後の予定戸数5,000戸に対する契約進捗率は84.7%となっています。

■ビル事業セグメント・・・９月末時点の空室率は5.0%となり、６月末から0.8ポイント改善いたしました。これは主に、新築ビルのテナントリーシングが進捗したことによるものであります。

■資産運用開発事業セグメント・・・中小規模の賃貸マンションを中心に収益不動産の売却が順調に進捗したことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加しましたが、私募ファンドへの出資分に関し、営業エクイティ投資評価損を計上したことにより、営業利益は大幅に減少しました。

■通期業績予想の変更・・・現時点までの進捗状況と今後の見通しを勘案し、売上高のみ通期の業績予想を変更いたします。売上高は、従前予想に比べ200億円増（4.4%増）の4,700億円に修正いたします。なお、各利益の予想数値に変更はありません。

以　上

（添付資料）

平成23年３月期　第２四半期決算短信

2011年３月期第２四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・津賀・平野）

TEL03－3348－8117　・　FAX03－3343－0445